



©2011 練馬区ねり丸

# ほんだな

ねりまくりつ  
としょかん

令和3年(2021)7月

No.509

練馬区立図書館  
ホームページ



## としょかんが えらんだ あたらしいほん

えほん

### ヴォドニークの 水の館

まきあつこ／文 降矢なな／絵  
(BL出版)



むすめがおなかをすかせて岸辺で泣いていると、水辺の主ヴォドニークにつれられてしまいました。食事をもらい、そうじを命じられたむすめは、ある日、広間のつばから声がすることに気がつきます。

えほん

### 気のいいバルテクと アヒルのはなし

クリスティーナ・トゥルスカ／作・絵  
おびかゆうこ／訳 (徳間書店)



バルテクは、たすけたカエルから魔法(まほう)の力をもらいます。ある日、たくさんの兵士(へいし)をつれた大将(たいしょう)がやってきて、バルテクのたいせつなアヒルを丸やきにしたいといひます。

ようねん  
どうわ

### わたし、 パリにいったの

たかどのほうこ／著  
(のら書店)



はなちゃんといもうとのめめちゃんは、パリへいったときのアルバムをみるのがだいすき。めめちゃんはまだおかあさんのおなかのなかにいたのに、なぜかそのときのことをよくしていました。

じどう  
ぶんがく

### さいごのゆうれい

斉藤倫／著 西村ツチカ／画  
(福音館書店)



小学五年のハジメは、夏休みを田舎のおばあちゃんの家ですごすことになりました。大好きな飛行機を見に行くと、見たこともない不思議な機体から、さいごのゆうれいを名乗る女の子が降りてきました。

じどう  
ぶんがく

### ロザリンドの庭

エルサ・ベスコフ／作 菱木晃子／訳  
植垣歩子／絵 (あすなろ書房)



ラーシュは六歳(さい)の男の子。病氣(びょうき)がちで、ベッドによこになって花や鳥がえがかれた壁紙(かべがみ)をながめることが楽しみでした。ある日、壁のなかからノックの音がして…。

かがく  
よみもの

### あなたの あしもと コケの森

鷗沢美穂子／文 新井文彦／写真  
(文一総合出版)



約4億年前に地球に生まれたコケ。小さなからだには不思議がたくさんつまっています。どんなところに住み、どんな種類があるのでしょうか。観察の仕方やコケとの遊び方までしょうかいます。

かがく  
よみもの

### おかえり、ウミガメ

高久至／写真・文  
(アリス館)



屋久島(やくしま)の海岸は、日本で一番大きなウミガメの産卵(さんらん)場所。生まれてすぐに子ガメは海へと急ぎます。大きくなったウミガメが、生まれた場所に帰ってくるまでの物語です。

そのた

### 日本庭園を 楽しむ絵本

大野八生／作  
(あすなろ書房)



わたしのおじいちゃんとカメラマンのジェラールさんは「庭友だち」。三人でさまざまな庭園をめぐる。水や石、季節の植物を生かした、日本の伝統的な庭づくりを見てみましょう。

